



港南ラウンジ・ニュース

5・6月

外国人支援と国際交流の施設 横浜市港南国際交流ラウンジ 2026年4月22日発行

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー13階
Tel: 045-848-0990 Fax: 045-848-3669

E-mail
アドレス



ホーム
ページ
URL



Facebook
URL



開館時間：09:00～21:00(日曜祭日17:00まで) 休館日：第3水曜日、年末年始

7月 初心者のためのパソコン講座

日 時：木曜日(全4回)、13:30～16:00
対 象：マウス操作および文字入力(ローマ字 or かな)ができる方
参 加 費：各回 2,000 円(テキスト代含む)、申込時に支払い
申 込：6月11日(月)より来館にて受付(1回だけの参加可)
募 集：10名(先着順)国籍は問いません

パソコン無料貸し出しあり



①7月2日 Windows11 を使いこなす

★パソコンを最新に保つ、パソコンを保護する、付属アプリを使う

②7月9日 イチからはじめる Excel

★表の作り方、グラフの作り方、合計・平均の計算

③7月16日 ホームページをつくる

★Jimdo 無料ホームページ適用、豊富なスタイルから選択
ページリンクの作り方

④7月23日 対話型 AI 入門

★Microsoft 無料の Copilot の使い方、質問・添削を対話形式で実践、
写真をイラストに変換する

日本語学習者からの寄稿文 わたしのワンちゃんの日 ミッフィーさん(台湾)

わたしは台湾から来ました。

わたしは日本の家で、ワンちゃんを飼っています。わたしのワンちゃんはダックスフントです。なまえは BIBI ちゃん。体は長いですが、足は短いです。

わたしの故郷の台湾と違って、日本の冬は寒いです。日本の四季は、はっきりしています。冬の日、ワンちゃんは太陽の光が大好きです。いつも窓の日が当たるところにいます。窓の日の光が動くと、一緒に動いています。ときどき、体を丸くしたり、伸ばして長くしたりしています。

ワンちゃんを観察していると、とてもおもしろいです。ワンちゃんの生活はとてもシンプルです。そんな生活に憧れます。わたしもワンちゃんのように、シンプルに生きたいと思います。



横浜市港南国際交流ラウンジは、「NPO 法人横浜港南国際交流の会」が港南区役所から委託を受け運営しています。NPO 法人横浜港南国際交流の会は、地域住民が、国籍にかかわらず、一人ひとりのつながりや相互の支え合いを大切に、多様な文化が共生するまち、誰もが安心して暮らせるまち、の実現をめざした、各種の支援事業や交流事業等を行い国際協力や国際理解の増進に寄与することを目的としています。港南国際交流ラウンジでのボランティアに興味のある方は、ぜひ港南国際交流ラウンジまでご連絡ください。お待ちしております。

【ご報告】第25回 港南国際交流ラウンジ祭りを開催しました

♡午前の部 日本語で話そう♡

親や夫の仕事、自分の勉強や新しい挑戦など、いろいろな理由で日本に来た10人の外国人。みんな、日本語を話せるようになりたくて、ラウンジで日本語を学んでいます。ラウンジ祭りの日には、それぞれが日本語で自分の思いをスピーチしました。

日本で暮らして感じたこと、日本から見た母国のこと、日本で好きになったもの、日本と母国の似ているところ。日々の生活の中で心に浮かんだ気持ちを、やさしい言葉で伝えてくれました。どのスピーチからも、「共に生きる」というあたたかい思いが伝わってきました。



2026年2月15日(日) ひまわりの郷にて



行政書士による在留資格相談会も同時に開催しました。今後、ラウンジでも不定期に開催予定ですのでHP等でご確認ください。

♡午後の部 各国の歌や踊り♡

11組が合唱やダンス、演奏を披露。ダンスは、音楽に合わせて体を動かすという動作は同じはずなのに、どのグループもまったく違って、どれも本当に素敵でした。特に、外国のダンスは、聞きなれないリズムがとても新鮮で、思わず「わぁ」と声が出そうになるほど。歌や踊りに合わせた色とりどりの美しい衣装も、観客の目を惹きつけていました。

ご報告・・・いちご狩り



3月1日に、春の明るい陽射しの中、小さいお子様からご友人、ご家族等の色々な方が参加くださってとても楽しいイチゴ狩りでした。イチゴも中まで赤く完熟していて美味しく、皆さんの笑顔でさらに美味しく感じられ素敵な一日になりました！ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。(ボランティア 森本さん)

アンニョンハセヨ！

韓国語スタッフの盧貞愛（ノ・ジョンエ）です。ラウンジで働き始めて、9年になります。最初は仕事に慣れず大変でしたが、親切なスタッフの皆さんのおかげで、少しずつできることが増えていきました。主な活動は、私の大好きな翻訳でした。イベントに参加して新しい方々と出会い、韓国の魅力を伝えることができたことも、私にとって大きなやりがいでした。「子どもゆめワールド世界の屋台村」のイベントにも参加しました。韓国ブースには、チヂミをはじめ、チャプチェ、えごまの葉のジョン、トッポギ、ユッケジャン、キムチなど、さまざまな韓国料理が並び、香ばしいチヂミの焼ける匂いが秋の空気に広がり、焼き上がりを待つ人たちの長い列ができていました。韓国の家庭の味がそのまま日本の皆さんのもとに届いているように感じ、とても胸がいっぱいになったことを覚えています。23年前、日本に来たとき、一番大きな課題は言葉でした。特に子どものことがとても心配でした。日本語の先生から「6か月経てば自然に話せるようになりますよ」と言われ、私たちはその言葉を信じて見守ることにしました。すると本当に、6か月後にはカタコトしか話せなかった子どもが自然に日本語を話せるようになり、みんなを驚かせました。そして楽しい学校生活を送ることができました。それは、先生方はもちろん、言葉が十分に通じなくても一緒に遊んでくれたお友達のおかげだと思っています。私は韓流ブームをきっかけに、20年以上にわたり韓国語講師として活動しながら、韓国の文化を伝えてきました。もうすぐ故郷へ帰る時が近づいています。韓国に戻ってからは、日本でいただいたたくさんの配慮と愛情を大切にしながら、さらに成長した姿で、韓国にいる外国の方々はこの恩を返していきたいと思っています。助けを必要としているところで力になれるよう、これからも歩いていきたいと思っています。

